

# 体感「-2センチ」足元快適に 神戸のメーカー開発、ヒール靴人気

体感マイナス2センチのヒール靴として開発された「エルバーージュ」―神戸市須磨区



ヒールのある靴が苦手な人にも手に取ってもらおうと、レディースシューズなどを手がける神戸市須磨区

の「バス・コーポレーション」が、体感マイナス2センチを実現したヒール靴を開発した。新ブランド「エルバ

ージュ」として10月下旬に販売を開始し、幅広い世代の人気を集めているという。

新ブランドは、パンプスやショートブーツなど4型の展開。前滑りしにくい傾斜の木型を使用し、靴底の接地面を通常より約5ミリ長くすることでグラつきを軽減させた。足への負担が足裏全体に分散され、5センチと7センチのヒールは、それぞれ3センチ、5センチ程度に感じられるという。

新型コロナウイルスの影響で企業のテレワークが拡大したこともあり、ヒール靴の需要は減少傾向に。従業員約8割を女性が占める同社でも、ヒール靴から遠ざかっていたスタッフが

多いという。

同社の小川亜紀子社長は「履き心地のよいものを履いていたいという人の心に寄り添いながら、背筋の伸びるヒール靴の良さも快適に楽しんでもらえれば」と話している。

同社の洗える靴のブランド「クロールバリエ」の神戸元町本店（同市）やオンラインショップなどで購入できる。

2021年11月21日（日）  
elevage が  
産経新聞に掲載されました。